

都市計画

2 units (selection)

Akio Kondo · PROFESSOR / INSTITUTE OF TECHNOLOGY AND SCIENCE

Target) 都市計画の目的, 計画の作成過程, 計画における予測と評価の考え方や手法を理解した上で, 都市計画の歴史を知るとともに, 都市計画の内容や手続きに関する基礎知識を身につけることを目的とする.

Outline) 教科書に加え, 関連資料や現実の都市計画の事例を用い, 講義形式でわかりやすく講述する. また, 理解度を高めるために, 各講義の最後には, おさらいのプリントを課す.

Keyword) 都市計画の目的, 計画における予測と評価, 都市計画の内容と手続き
Requirement) 特になし.

Notice) 授業を受ける際には, 2時間の授業時間毎に2時間の予習と2時間の復習をしたうえで授業を受けることが, 授業の理解と単位取得のために必要である.

Goal) 都市計画の目的, 計画の作成過程, 計画における予測と評価の考え方や手法が示せ, 都市計画の内容や手続きについて説明することができる (授業計画 1~ 16).

Schedule)

1. ガイダンス:都市計画を学ぶ理由
2. 都市計画の目的 (おさらいプリント 1) 講義内容の予習・復習
3. 計画の作成過程 (おさらいプリント 2) 講義内容の予習・復習
4. 計画における予測 (おさらいプリント 3) 講義内容の予習・復習
5. 予測手法 (おさらいプリント 4) 講義内容の予習・復習
6. 計画の評価 (おさらいプリント 5) 講義内容の予習・復習
7. 評価手法 (おさらいプリント 6) 講義内容の予習・復習
8. 都市計画の歴史 (おさらいプリント 7) 講義内容の予習・復習
9. 近代都市計画の理念と実際 (おさらいプリント 8) 講義内容の予習・復習
10. 土地利用計画 (おさらいプリント 9) 講義内容の予習・復習
11. 都市施設計画 (おさらいプリント 10) 講義内容の予習・復習
12. 市街地開発事業計画 (おさらいプリント 11) 講義内容の予習・復習
13. 地区計画 (おさらいプリント 12) 講義内容の予習・復習
14. まちづくりの今後の課題
15. まちづくりの今後の課題
16. 試験の返却と解説

Evaluation Criteria) 到達目標が達成されているかを定期試験の評価点 (100%) によって行う. 評価点が, 60%以上を到達目標クリアの条件とする. ただし,

おさらいプリントはすべて提出されていること. また, 出席率が3分の2以上あること.

Textbook) 加藤晃・竹内伝史:新・都市計画概論, 共立出版

Reference) 青山吉隆:図説都市地域計画, 丸善

Webpage) <http://planning.eco.tokushima-u.ac.jp/top/index.htm>

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=216525>

Student) 開講学科学生のみ履修可能

Contact)

⇒ 近藤光男, エコ602, 088-656-7339, kondo@eco.tokushima-u.ac.jp (Office
Hour: 月曜日11・12校時)

Note) 特になし.